

母校の全国大会の応援報告

※全国高等学校駅伝競走大会を振り返って

陸上競技部 主将 藤本駿世

本大会は「3位入賞」と「2時間3分切り」を目標に掲げ、部員一丸となって挑んできました。結果は23位となり、タイムも目標には届かず、大会を終えることとなりました。序盤から苦しい展開でのレースとなり、駅伝の難しさを 実感しました。しかし、この経験は必ずや部員全員の今後の競技において必ず意味のあるものになると思います。後輩には、自分たちで決めた目標達成のための取り組みとして、今後の競技・生活のなかで甘さを捨て、チームとして強い集団を目指して頑張ってもらいたいと思います。最後になりますが、沢山のご支援とご声援本当にありがとうございました。

※御 礼 陸上競技部 監督 高橋正仁

第73回全国高等学校駅伝競走大会出場に際し、多くの方々から御支援と御協力を頂き、心より感謝と御礼を申し上げます。今大会に向けて、前回大会が入賞まであと一歩と迫る9位で終え、『3位入賞』を目標に掲げてこの1年、練習に邁進してきました。その中で大野聖登という絶対的エースをはじめ、力ある3年生が都大路に向けてチーム力を高めてくれました。結果として目標達成は叶いませんでしたが、生徒一人ひとりがエースの遅れを取り戻すべく走り切ってくれたことに、生徒のチームを思う気持ちを感じました。そして最後に私が考える高校スポーツは、成功や失敗を繰り返しながら『人として成長していくこと』が成長の鍵だと思っています。いかに自分と向き合い、競技あるいは人と接していけるかだと思っています。第73回全国高校駅伝は終わってしまいましたが、次年度に向けてスタートをしています。これからも秋田工業高校陸上競技部に対する御支援と御協力の程、宜しくお願い致します。

高校ラグビー全国大会(花園)

※初戦突破(松山聖稜に雪辱)秋田工業22-7松山聖陵(愛媛)

◎伊東真吾監督

相手の松山聖陵には前回大会と春の選抜大会で連敗しており対戦が決まって卒業生のリベンジをしなきゃという思いで選手も気持ちの入った練習ができた。テンションが上がって良い試合

ができた。(連敗の反省から)ぶつかり合いなどラグビーの基本的なことを徹底してきた。もう一度強い秋田を取り戻したい。そのためにディフェンスとタックルにこだわってきたい。



白:秋工・松山聖稜戦

※2回戦 秋田工業32-7東海大静岡翔洋

過去15度の花園歴代最多優勝を誇る秋田工が32-7で東海大静岡翔洋を下し、2大会ぶりの3回戦進出を決めた。同歴代最多勝利数を「136」に伸ばした。

秋工が試合開始早々に主導権を握った。前半5分。FB黒沢航希(3年)が先制トライを奪い、チームに勢いを与える。同16分にペナルティーゴールで追加点を挙げ、その後は3連続トライ。20-0で前半を折り返した。後半開始直後にはゴール前ラックから最後は再び黒沢が左中間にトライ。2試合連続2トライの大活躍で、「花園で年越し」に大きく貢献した。濃紺と白のしまのジャージーが躍動した。接点で力を見せつけ、相手に流れを渡さなかった。風上の前半はターンオーバーを獲得して攻撃につなげた。FL大沢空(くうあ、2年)らの正確なタックルで、次々にボールを奪った。相手の反則も誘発し、敵陣での攻撃時間を増やした。風下の後半は守備の時間が多くなり反則も増えたが要所での守備が光り、1トライに抑えた。伝統校としてのプライドがある。花園出場70度、同優勝15度はともに全国最多だ。チーム目標であり、東北勢として10大会ぶりとなる「花園8強」を狙う。

記事 ラグビー後援会 船木政秋氏 (HP掲載記事から)

※3回戦 秋田工業3-52東福岡

15度の最多優勝を誇る秋工ですが、先制点をペナルティーゴールで得るもAシード優勝候補の東福岡に力負けし、ベスト8に進めませんでした。



3回戦東福岡戦

◎鈴木主将:(東福岡の)1人1人の能力が高かった。1対1で抜かれる部分もあった。

◎伊東真吾監督(48):選手らは頑張ってくれた。花園に入ってから、選手たちの成長を見ることができた。東福岡さんが強かった。強いチームと最後に戦うことができ良かったと思います。

高校ラグビー選抜大会(熊谷)

※3月25日1回戦:秋田工業 対 高川学園(高知)

熊谷ラグビー場で選抜高校ラグビー大会があり、1回戦は初出場の高知県の高川学園戦です。高崎の自宅から車で熊谷の会場まで行きましたが、ちょっと早く着いたので秋工戦の1試合前の「東福岡 対 川越東」戦を見ました。東福岡は強豪校で、秋田工業が勝てば2回戦で対戦する相手です。また秋田工業が負けた場合は、川越東と敗者戦の相手になります。東福岡と川越東はどちらが勝っても負けても翌日の相手になるのでしっかり試合内容を見ました。東福岡は強豪校だけあって、固く厚い守備と攻撃力が相変わらず光っていました。また川越東が結構東福岡に対抗していて、明日秋田工業と当たったら苦労しそうな印象でした。結果は予想通り東福岡が勝ち、明日の秋工対戦相手は川越東に決まりました。



1回戦:高川学園戦

東福岡と川越東戦が終わわり、いよいよ秋工と高川学園戦です。高川学園は初出場選手層や試合運びなど不明でしたが、選手の体格は秋田工業選手よりも頑丈そうに見えました。やはり試合結果は高川学園選手の体格が上回り18-12で残念ながら秋田工業は負けてしまいました。負けたので明日の試合はBグラウンドで敗者戦を行うことに決まりました。



1回戦:高川学園戦

秋田中央も負けたので、明日は秋田工業戦の1試合前に同じBグラウンドで敗者戦です。

母校の全国大会の応援報告

なお熊谷ラグビー場は、雨だったが桜が満開でした。レインコートを着て傘を差して応援したが、靴はびしょ濡れになってしまいました。

※3月26日1回戦:秋田工業 対 川越東

午前中の試合だったので高崎の自宅を8時半ころ出発し、熊谷ラグビー場に到着、雨なので車の中でレインコートを着てから傘を持って試合場に向かいました。到着が早かったので、1試合前の秋田中央対流通大柏戦を最初から見る事ができました。秋田中央は頑張ったが敗れてしまいました。

次の秋田工業と川越東戦が始まりました。川越東の選手は体格が秋田工業選手よりも若干勝っていて、かつ鋭く素早い当たりで秋工選手が苦労させられました。また雨でボールと足が滑って思うような活躍ができなかったと感じました。試合結果はどちらも2トライだったが、12対10で秋工が競り負けました。



敗者戦:川越東戦

しかし秋田工業選手の展開力も素早く、光るものが見えました。長所を活かし一層の強化をして年末の花園での活躍を期待します。



OBの応援

記事 嵯峨 良平 (昭和43年電気科卒)

第45回全国高校柔道選手権大会 2023(団体戦)

3月20日(月)四谷の中華料理「喜寶」に於いて、17:10~19:10間に第45回全国高等学校柔道選手権大会に出場する秋田工業柔道部の



激励会

株式会社 測地コンサルタント
測量業登録/建設コンサルタント登録/補償コンサルタント登録/一級建築士事務所
ISO 9001/14001/27001 認証取得
本社 〒011-0902 秋田県秋田市寺内堂ノ沢二丁目1番1号
TEL 018(846)2081 FAX 018(846)3661
URL http://www.sokuchi.ecnet.jp/
事業所 ・補償分室(秋田市牛島)・仙台支店・前橋営業所
取締役会長 池田 昌憲 (昭和47年建築科卒)

地元密着の総合建設業
彩光建設株式会社
SATA Construction Group
代表取締役 下總 勉 (昭和47年建築科卒)
〒330-0842 埼玉県さいたま市大宮区浅間町2-257
電話 048-647-3155 FAX 048-647-3370
E-mail tsutomu-shimofusa@saikoukensetsu.co.jp

株式会社
渡辺佐文建築設計事務所
取締役会長 渡邊 佐文 (A25卒)
〒010-0954 秋田市山王沼田町6番8号 TEL 018-863-8431